

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

August / 10 / 2018 # 65

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『夏真っ盛り』

[2] Pepeのひとりごと

『いい演奏につながるもの』

[3] おすすめ動画

『Christian Lindberg's Incredible Road to Success』

『CONCERTO FOR TWO TROMBONES (by RICARDO MOLLÁ) - IAN

BOUSFIELD & YU TAMAKI』

[4] 演奏のヒント！

『発音と音色』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『夏真っ盛り』

先月のメールマガジンのこの項で紹介したITF(International Trombone Festival) に関してですが、「オハイオ州で開催された」と僕は書いていたのですが、正しくはアイオワ州でした。

ごめんなさい・・・、僕の勘違いでした。

ただ今、夏真っ盛り。
吹奏楽をやっている人にとっては、一年で一番盛り上がる時期ですね！

本番でいい演奏はできましたか？
そして、結果は嬉しいものが付いてきましたか？？

今年は、課題曲のTromboneパート、Euphoniumパートの練習のための
動画を作ってみました。
少しでも練習の役に立ってこれていればいいのですが、
どうだったのかなあ？？

来年度、するつもりもしないつもりも今は全くありませんが、もし希望の
声が多くて時間が取れるようであれば、やるかもしれません（笑）。

みなさん、よい夏を！！:D

[2] Pepeのひとりごと

『いい演奏につながるもの』

ふと何かのときにこれを思ったことが、この2、3ヶ月のうちに数回
ありました。
それは、

「いろいろな演奏をたくさん聴くことの大切さ」

です。

いい演奏家になるためには、「どのように演奏するのか」ということを
頭で把握、理解することだけではなく（もちろんそれも大切だと
思いますが）、いい演奏、いろいろなスタイルの演奏を「感覚で感じる
経験」をたくさんしたほうが良いと思うんです。

いろいろなジャンルを聴くことも、同じ曲を別の奏者の演奏で聴くことも、
どちらもとても大切だと思います。

そうしているうちに、演奏の手段の豊富さ、スタイルへの柔軟性、
音色の使い分け方、アンサンブルをする上での必要なスキルなど、
人から教えてもらうことではなかなか手に入らないことを、
吸収することができるんだと思います。

ぜひ、聴かず嫌いにならないで、いろいろな演奏を聴いてみてください！
すべての演奏を好きにならなくてもいいんです。みんなが「いい」という
演奏を「いい」と感じる必要もないんです。
自分の感性のまま、いろいろな演奏を聴き続けてください。

気が付かない間に自分の演奏能力はアップしていますよ！！：)

[3] おすすめ動画

『Christian Lindberg's Incredible Road to Success』

[https://www.youtube.com/watch?](https://www.youtube.com/watch?v=wTJITvul8KI&index=7&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&t=0s)

[v=wTJITvul8KI&index=7&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&t=0s](https://www.youtube.com/watch?v=wTJITvul8KI&index=7&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&t=0s)

今月の1つ目の動画は、Trombone奏者、作曲家、指揮者として大活躍中のChristian Lindberg氏のインタビューの動画です。彼のソリストとしての大成功までのことを話してくれています（英語ですが）。

彼でも、やはり最初はとても苦勞をしていたそうですね。でも、やっぱり努力は裏切らないのだから、と改めて思いました。

僕もがんばるぞ！！：D

『CONCERTO FOR TWO TROMBONES (by RICARDO MOLLÁ) - IAN BOUSFIELD & YU TAMAKI』

[https://www.youtube.com/watch?v=fN5_-](https://www.youtube.com/watch?v=fN5_-q0QvoA&index=9&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&t=0s)

[q0QvoA&index=9&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&t=0s](https://www.youtube.com/watch?v=fN5_-q0QvoA&index=9&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&t=0s)

2つ目の動画は、元ウィーンフィルの首席TromboneのIan Bousfield氏と玉木くん（玉木優氏）のTromboneのダブル・コンチェルトの動画です。

今年の春に大阪であったコンサートのものですね。曲は、スペイン人の名Trombone奏者のRicardo Molla氏の作曲したもので、確かこの曲はMichel（Becquet氏）とJörgen（van Rijen氏）の演奏で数年前にスペインで初演されました。

大変な曲を、簡単に演奏しています。吹奏楽も好演ですね。お楽しみください。：)

[4] 演奏のヒント！

『発音と音色』

自分の演奏のことしかわからないのですが、音色と発音はつながっていると僕は思っています。魅力的な演奏をするためには、たくさんの音色があったほうがいいと思います。

ということは・・・。

そう、そのためには、たくさんの種類の発音を手に入れることが、助けになってくれます。

発音の種類といっても、なかなかパツとイメージしにくい人も
いるかと思います。

日常の会話をイメージするとわかりやすいと思いますよ。
例えば、隣りにいる人に「普通に」話している感じ。
同じことを何回も言わされて、少しイライラした感じで話す感じ。
落ち込んでいる人を慰めるような話し方。
落ち込んでいる人を元気づけるような話し方などなど・・・。

こういういろいろな場面をイメージして、自分が話すような感じで
音を出していくと、自然と発音も変わってくるはずですよ。

普段話しているときに、「はっきり発音しよう」と思ったり
「なめらかに話そう」と思って話し始めたりすることはないですね？
状況を汲み取って、自然にそのような話し方になっていると思います。
すぐに、簡単にはできないと思いますが、日常の会話のような感覚で
音を出していくイメージを持って演奏してみましょう。
そうすると、自然とブレス（呼吸）もその音楽に合ったものにな
っていきますよ！

編集後記

暑い日が続きますねえ・・・。
暑さに弱い僕ですが、だいぶ暑い中でも生き抜く術を手に入れて
いっているような気がしています。 ;)

先週末、我が家にしては珍しく、家族で東京へ遊びに行きました。
3日間、「リラックス&楽しむ」を大切に、とっても充実した時間を
過ごしてきました。

思いっきり楽しいことをして、仲のいい仲間と一緒に大笑いして、
とってもリフレッシュできました～！！

そして、大阪に戻ってきてからの楽器の調子も、とってもいい感じです！！

やっぱり、リフレッシュというのも大切なのですねえ。
みなさんも、リフレッシュを上手にしながら過ごしてみてくださいね！ ;)

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト
<http://www.pepeabe.com>
ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！
info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』
のバックナンバー、配信停止はこちら
<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>